

開催希望団体様

IPAインターネット安全教室 開催要綱

ホームユーザー向けインターネット安全教室について

令和2年版(2020年度版) ver.2

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)

経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課

事務局 (株)教育ネット

I. IPA「インターネット安全教室」背景と目的

インターネットサービスの利用はますます増加し、IoTの普及により本人に実感のないまま日常生活でネット接続するケースなど、一般国民にも必要不可欠で身近な存在となっております。その一方で、インターネットに関わる犯罪や事故が増加しており、青少年、また一般ユーザーへの啓発活動は急務であり、かつ継続が必要な事業であるといえます。

IPAでは全国各地で情報セキュリティ・情報モラルの基礎知識向上を図り、一般国民のインターネット利用者に情報セキュリティ情報モラルの普及啓発することを目標に下記の通り二つの安全教室を実施します。

2020年に入り、私たちは世界的な新型コロナウイルス感染防止対策という初めての生活変化を体験しています。インターネットの利用は今までよりもなお身近であり、必要な情報セキュリティ、情報モラルの知識も変化が見られます。今、必要な情報セキュリティ、情報モラルの知識等、開催希望団体様の皆様とプログラム内容を検討し、実のある安全教室を目指します。

①教育関係者等向け「インターネット安全教室」全国で47回開催

「教育関係者等向け安全教室」は、教育関係者が、児童・生徒・学生・一般ユーザーにインターネットの安全利用について指導することを前提とし、必要な知識を習得するだけでなく、指導するためのポイントも合わせて学習するプログラムを提供いたします。

全国の経済産業局の存在する9ブロック（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄）毎に各ブロックの都道府県数に一致する回数の安全教室を、一回50名以上の参加（オンライン開催を含む）を想定して実施いたします。

対象者：教職員、インターネット安全教室の講師希望者、警察関係者、サイバーセキュリティ啓発活動を行う人、大学生、大学院生など、情報モラル教育、情報セキュリティの啓発を行う意思のある方

開催条件：50名以上の参加が見込まれ、かつその人数が収容可能な会場を用意できること。

参加費は無料。 ※簡単なアンケートにご協力いただきます。

内 容：安全教室の時間は30分～90分 開催希望団体様の要望に合わせて実施可能。

- ・IPAの教材を活用して、情報セキュリティ・情報モラル教室を実施する方法
- ・現在のネット社会の現状やその課題（青少年、一般、シニア）について
- ・遠隔会議システム、リモートワーク時の情報セキュリティ、情報モラルの確認
- ・メディアリテラシー、ネット情報とのつきあい方

受講者のニーズに合わせ、教材を用意します。詳細は公式サイトを御覧ください。

講 師：講師は事務局から無償で派遣いたします。

開催希望団体様へのお願い：会場の提供、集客をお願いします。案内フライヤーはデータ提供いたします。

※詳細は別紙 IPA①インターネット安全教室開催要綱を参照ください。

②ホームユーザー向け「インターネット安全教室」全国で50回以上開催

情報セキュリティに関する基礎知識、ネットリテラシー向上を目的にホームユーザー向けに全国で50回以上、1回につき20名以上の参加を想定しての安全教室を実施します。

地域の開催希望団体様と連携を取りながら、より受講者の満足度の高い安全教室を目指します。

対象者：一般の方（シニアの方含む）、高等学校、中学校、小学校の児童生徒、保護者、などすべてのインターネットサービスを利用する方 参加費は無料。 ※簡単なアンケートにご協力いただきます。

内 容：安全教室の時間は45分～90分 ワークショップや話し合い活動などを取り入れ、自ら学び、考えていただく教室になります。私たちのネット利用の現状、SNS、ペアレンタルコントロールなど、参加者にとって身近なテーマを取り上げます。

開催希望団体様へのお願い：

講師手配のご協力、会場の提供、集客をお願い致します。

講師選出が難しい場合は、事務局までご相談ください。

案内フライヤーはデータ提供いたします。20名以上の集客をお願い致します。

①教育関係者等向け「インターネット安全教室」を受講した方が、②のホームユーザー向け「インターネット安全教室」を開催する場合、集客、会場、案内フライヤー（データ作成）プログラムに関する相談、遠隔会議システムを使用する場合の技術的フォローなど、事務局がバックアップいたします。

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が事業主体者となり、（株）教育ネットが事務局を運営しております。

実施にあたっては、運営や会場提供などに御協力いただける各地のNPO、団体、自治体、学校、法人等と協力、連携を取りながら共同開催の形式で安全教室を開催いたします。

実施方法の不明点やご相談は事務局（株）教育ネットまでご一報ください。

IPAインターネット安全教室事務局 （株）教育ネット

専用電話:045-530-9047 E-mail: net-anzen@ipa.go.jp

専用FAX:045-330-6122

昨今は新型コロナウイルス感染防止対策のため、三密を避けることが求められています。
事務局では開催希望団体様の皆様と協議を行い、適切な形態で教室の開催いたします。
現在、以下のような形態、またこれらを複合させた形態での実施が可能です。

	開催場所	会場要件	事前準備	感染対策	メリット・デメリット
①会場開催 	全国50箇所 現地開催	開催希望団体様と連携し決定。 50名以上収容できる会場で、かつ感染防止の対策がとれる会場	・講師持ち込みのPC、パワーポイント上映に必要な機材、マイク等の接続確認	・講師の当日検温データの提出、アンケートのWeb実施（印刷物を手渡ししないため） 持ち込みPCの消毒、道中、会場内でのマスク着用、会場での換気、名刺交換、資料の受け渡し、お茶出し中止、スリッパ持参、受講者との接近禁止等、時勢に応じた対策を行う。	・講師と開催希望団体様、受講者が直接対面できる。 ・実施不可能な場合も想定でき、現時点での日程の決定が難しい。 ・開催が決定した場合も、集合を避けるケースもあり、集客の見込みが難しい。
②遠隔会議システム 	オンライン開催	教室準備室として、事務局を使用。事務局は感染対策として、検温、マスクの着用、部屋の喚起などを実施する。	・遠隔会議システム ・関連組織メンバー、また受講者への事前案内と当日の接続確認	事務局は感染対策として、検温、マスクの着用、部屋の喚起などを実施する。	・日程決定が容易。 ・受講者は自宅から参加できるため、感染防止が可能。 移動コストの削減 ・受講者のメールアドレスが分かれば、資料の受け渡しも容易。 ・動画をリアル配信、オンデマンド配信可能 ・開催形態に慣れていない場合は、事前の打ち合わせと、当日の接続確認に時間を必要とする。 ・遠隔開始システムのセキュリティ面の保証は難しい。 ・受講者のICTスキルによっては参加が不可能。 ・シニア層の参加が難しい可能性がある。

★遠隔会議システム及びYouTubeLive 配信について

②で使用する遠隔会議システムについては、開催希望団体様の皆様と協議の上、使用するシステムを決定いたします。現在、事務局ではZoomの有料アカウントを利用しており、常に最新バージョンを利用いたします。

またZoomでは、YouTubeのLive配信が可能であり、受講者に①会議システムには参加②リアルタイム動画視聴③オンデマンド配信による後日視聴（限定公開）等の多様な参加形態を選択いただくことが可能です。

事務局はZoomを安全に利用するため、以下の設定を実施いたします。

- ・待機室を活用し、受付登録を済ませていない参加者の入室を禁止します。
- ・教室を開催するミーティングは、都度生成されたIDを使用、推測されないパスワードを使用します。
- ・受付登録済み参加者のみに、参加方法をお知らせします。
- ・画面共有機能はホストと共有ホスト（講師やスピーカー、開催希望団体様、事務局等）のみとします。
- ・プライベートチャットを禁止します。
- ・参加者のミュート入室、場合によっては参加者自身のミュート解除機能を無効にします。
- ・画面共有時の注釈機能は、ホスト側のみとします。
- ・ホスト、共有ホストなど複数名で、教室を開催し、安心して受講できる環境を作ります。
- ・不要な人物が教室に参加した場合は、削除、再参加を許可しない機能を使用します。

2. ホームユーザー向け「インターネット安全教室」開催方法について

全国各地の開催希望団体様でご用意された会場で、一般ネットユーザー、児童、生徒、学生向け、保護者向けの「インターネット安全教室」を開催いたします。

「安全教室」開催を希望される団体様は、公式サイト<https://ipa.edu-net.co.jp/>より、開催のお申し込みをいただけます。

一般ユーザー、保護者対象の場合は集客、会場の提供をお願いいたします。

IPA、事務局(株)教育ネットからは、集客のためのフライヤーフォーマット提供、講師の手配、参加者への配布資料(IPA作成の教材DVD等)を提供いたします。

■主催・共催の形態(表記)

下記2パターンのうち、事情に合わせて適当な形式を選択して下さい。なお、開催形態の違いにより協力内容が変わることはありません。

【パターン1】 主催:IPA・開催希望団体様(各団体・自治体・学校等)

共催:経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課

事務局:(株)教育ネット

【パターン2】 主催:IPA

共催:開催希望団体様(各団体・自治体・学校等)・

経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課・

事務局:(株)教育ネット

★フライヤーへの事務局名の表記は必須ではございません。

■開催要件

全国各地で50回開催いたします。講師の手配ができ次第、日程確定を行います。

お申し込み時には日程希望を複数お寄せいただけますようお願いいたします。

ホームユーザー向け「インターネット安全教室」開催要件を以下のように定めています。

- ・ 要件1. インターネットを利用する人を対象とする。
 - シニアを含む一般のインターネットユーザー
 - 小学校、中学校、高等学校の児童、生徒その保護者 20名以上の集客をお願いします。
- ・ 要件2. 受講者の参加費は無料であること
- ・ 要件3. 主催にIPA、共催に経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課を含むこと
- ・ 要件4. 開催報告書(会場写真含む)を作成し、事務局に提出すること(フォーマットあり)
- ・ 要件5. 受講者アンケートを実施し、提出すること
 - ➡Webアンケートフォームかアンケート用紙データを提供いたします。
- 要件6. 講師は開催希望団体様を含む関連組織※もしくは、教育関係者等向け「インターネット安全教室」受講者が担当すること ※関連組織:警察、教育委員会、地域関係企業等、情報セキュリティ・情報モラルを普及啓発するという同様の目的意識を持ち、連携・協力体制が行える組織。
(<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/group.html> 等)

遠隔会議システムを使用した安全教室を実施する場合は、開催希望団体様と協議の上、適切な会議システムを選定します。受講者が安全に会議システムにログインするためにも、個人情報保護に留意した参加申し込みフォームやイベント告知システムを使用します。受講者のメールアドレスの使用は、会議システムの利用、アンケートの配信、資料の配信に限って使用いたします。

3. ホームユーザー向け「インターネット安全教室」のプログラム

多くの子ども達や保護者、一般ユーザー、シニア層を含めた大人への情報セキュリティ、情報モラルの啓発を目標とします。受講者の属性を確認し、啓発する対象（児童、生徒、一般、保護者）によって、使用する教材を変更し、プログラムの内容を決定します。

プログラムはIPAサイトで公開しているIPA作成の講義要領、教材を元に構成を行いますが、最新事情として「情報セキュリティ10大脅威2020」の内容や、IPAの（ほぼ15秒アニメ）子ブタと学ぼう！情報セキュリティ対策のキホンなどの動画を活用し、新しいコンテンツも併せて提供いたします。これらの現状から「現実的」な情報モラル、情報セキュリティ、リテラシー向上、しいては「自分事」としてとらえ「判断する」力を身につけるきっかけとなるプログラム案を以下のように提案します。

- ① 一方的な講話型ではなく、疑似体験や、グループワークなどを取り入れ、自分事として思考を働かせる内容とする。
- ② テーマ設定は参加の特性（学齢等）にあわせ、必要な教材を組み合わせ提供。テーマ設定は開催希望団体様と講師、事務局が相談、調整する。
- ③ わかり易い言葉を使用する。また、知っておいてほしい用語などは丁寧に伝える。
- ④ 学校の授業時間（小学校45分、中学校50分）に対応したプログラムや、60～90分のプログラム、さらにワークショップを取り入れたプログラムも設定する。
- ⑤ IPAの「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」の受賞作品を紹介する。
- ⑥ 会場費用の負担軽減、開催日の確保、集客の規模拡大などの目的のために協力団体様の講習等と同日、または合同で開催する場合は、1部と2部に分けるなど、「インターネット安全教室」と他の講習の区分配慮がされていれば実施可能。

<プログラム例>

■ホームユーザー向け(中学生)安全教室のプログラム 50分例

1.開始挨拶 5分

2.情報モラル、情報セキュリティとは インターネットって説明できますか? 10分

3. SNSとのつきあい方 「私は大丈夫?」SNSも拡散性、記録性 15分

【ねらい】SNSとは?SNSの可能性、利点も確認した上で、個人情報拡散や危険な「出会い」などの負の面があることを理解し、対応する力をつける。

◆スライド例



4. 知っておきたい情報セキュリティ 「あなたのパスワードは大丈夫?」 ID,パスワードの重要性 15分

【ねらい】IDパスワードを大事にするセキュリティの意識を持つことはもちろんのこと、ふとしたことから「不正アクセス禁止法」違反になるようなことのないよう意識付ける。

◆スライド例



5. 質疑応答 アンケート回答 5分

遠隔会議システムを使用する場合も、受講者同士のグループワーク、またゲストスピーカーの講話なども実施いたします。遠隔会議システムを使用する場合のセキュリティ、マナー、モラルの面も、はじめにレクチャーさせていただき、初めて利用される方にも安心して受講いただける環境作りを目指します。

4. 事務局の(株)教育ネットから提供できること

①「インターネット安全教室」開催についての告知協力

「インターネット安全教室」を開催することにより、当該団体の行っている情報モラル・情報セキュリティに関する普及活動を、その地域の住民・行政等、さらには全国各地の人々にアピールすることができます。(株)教育ネット では告知手段としてフライヤー・ポスターのパワーポイントデータの提供、プレスリリース原稿ひな形の提供を行います。追記、変更いただきご活用ください。

遠隔会議システムを使用する場合は、申込フォームやイベント告知サイトをご案内いたします。

②教材・資料

(1) 講師担当の方には教材(講師用パワーポイント)の提供→公式サイトよりダウンロードいただけます。

(2) 参加者アンケートの提供

Webサイトからのアンケートを実施します。教室(実施場所、実施日)ごとに教室番号を発行いたします。印刷物を使用する場合は、アンケートの印刷用データを提供いたします。

マークシート方式になりますので、回収後、スキャンいただいたデータをお寄せください。

(3) 開催報告書のフォーマットの提供 → 公式サイトよりダウンロードいただけます。

③開催に関するサポート(後援・講演依頼等)

各地での開催に関して自治体(県・市)等の後援が必要な場合には、各団体から依頼をしていただいた上でご相談ください。(株)教育ネットにて後援依頼書の書面を作成・提出しています。また、各都道府県警察からのお話を希望される場合は(株)教育ネットから最初の依頼を行っておりますので、ご相談下さい。

その他、運営面でのご相談等についても随時受け付けております。

④講師手配

開催地近くの講師は地域の主催、共催団体もしくは、教育関係者等向け「インターネット安全教室」開催者、受講者 などが担当します。

講師手配が完了しましたら、実施日の確定とさせていただきます。

5. 開催側で行っていただくこと

① 会場と機材の準備(参考)

以下を参考に会場ならびに機材のご準備及び費用負担をお願いいたします。

【会場】

- 1) 参加者が来場しやすく交通の便の良い場所にある会場（学校の講堂、体育館、市民会館など）
- 2) 参加希望人数を収容できる規模の屋内の会場

【機材】

- 1) スクリーン
- 2) プロジェクタ（HDMIケーブルかRGBケーブル接続のできるもの）
- 3) マイク等付帯設備

※伺う講師によって、パソコンを持参もしくは会場のパソコンをお借りします。

② 開催の告知および参加者の募集・受付

「インターネット安全教室」開催の告知および参加者の募集をお願いいたします。

事前申し込みを行う場合には、受付対応もお願い致します。

ご希望に応じて「インターネット安全教室」のフライヤー・ポスターの版下データをお送りしますので、適宜印刷してご活用ください。

③ スタッフの手配

当日「インターネット安全教室」の開催にあたり、以下のスタッフのご手配をお願い致します。

- 1) 受付スタッフ
- 2) 司会
- 3) 運営回りスタッフ

④ 当日配布資料の印刷

担当講師より、実施日前にメール等で詳細の連絡をさせていただきます。

当日使用する資料を添付送信させていただきますので、参加人数分の印刷準備をお願いいたします。

⑤ 終了後の報告書等の提出

「インターネット安全教室」終了後に、以下の書類を提出していただきますようお願い致します。

(いずれも電子データでご送付下さい)

- 1) 開催報告書を作成いただきます。フォーマットは事務局で用意、会場写真の添付をお願いいたします。
- 2) アンケートを紙印刷した場合、記入済みアンケートを事務局まで送付ください。

遠隔会議システムを使用する場合する場合は、①の会場、機材は必要ございません。③のスタッフは開催希望団体様として数名の方に遠隔会議システムへの参加をお願いいたします。④の資料印刷は開催希望団体様のご判断にお任せいたしますが、基本は受講者へデータで提供をお願いいたします。

「IPAインターネット安全教室」公式Webサイト

<https://ipa.edu-net.co.jp/>

IPAインターネット安全教室事務局

(株)教育ネット

〒224-0032

神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央8-36 松本ビル502

専用電話:045-530-9047 E-mail: net-anzen@ipa.go.jp

専用FAX:045-330-6122

ホームユーザー向け「インターネット安全教室」開催要綱 2020年6月5日 ver.1